



山下 清美 議員

# ゼロカーボン実施に向けて新年 度予算編成に向けた取り組みは

町長 今できることを一つひとつ  
取り組んでいく

**町長** 資源リサイクルの推進や生ごみのコンポスト化、公共施設の照明のLED化、公用車のハイブリッド車への更新など、今できることを一つひとつ取り組んでいく考えである。

**問** 町は、10月1日に「ミライに繋ぐ、ゼロカーボンとかち清水」を宣言し、2050年までに町内の温室効果ガス排出の実質ゼロを目指す」と表明したが、実現には実施計画策定が不可欠である。新年度予算に向けた町の取り組みについて伺う。

**問** 今年の東京パラリンピックで、選手自身がそれぞれの特性を持った中で、一人ひとりが極限の力を発揮し躍動している姿に感動を覚え、改めて、すべての人がお互いの違いを受け入れて尊敬し合い、思い

障がい者の社会参加に向けた考えは  
町長 地域ぐるみの取り組みとするため、今後も情報提供や実態把握に努めていく

**町長** 第6期清水町障がい福祉計画は、今年度から第2期清水町障がい福祉計画において、社会参加の促進として4施策を挙げている。1点目は就労できる機会を増やし、2点目は安心して生活を送るための経済的支援に努め、3点目は社会参加できる地域づくり

**町長** 第6期清水町障がい福祉計画は、今年度から第2期清水町障がい福祉計画において、社会参加の促進として4施策を挙げている。1点目は就労できる機会を増やし、2点目は安心して生活を送るための経済的支援に努め、3点目は社会参加できる地域づくり

を指し、4点目は基本的な権利を守る成年後見制度活用に向けた取り組みを進めるものである。地域ぐるみでの取り組みとするため、今後も障がい福祉に関する情報提供や実態把握等に努めていく。



渋沢栄一らが設立した十勝開墾合資会社が造営した熊牛地域にある大勝神社

**問** 十勝清水郷土史研究会共同代表と渋沢史料館館長から渋沢栄一の生き方、考え、行動、思いを聞き、感銘を受け、清水の町づくりを進めるうえで学ばべき点が多いと考える。「渋沢栄一の生き方」を子どもたちの学びの場、大人の学びの場で継続し深めていく考え方や方針を伺う。

**教育長** 昨今関心の高まっている渋沢栄一の実績や理念を学ぶことができる機会を、子どもをはじめ全町民を対象に引き続き提供するとともに、町民にまだ広く認知されていないふるさとの歴史を学ぶ場を提供し、本町の歴史資源をまちづくりに生かしたいと考えている。

渋沢栄一の生き方への学びを  
継続して深める方針は  
教育長 全町民を対象に渋沢栄一の実績や理念等を学ぶ場を継続して提供する

# 新型コロナ臨時交付金の検査推進枠 を活用して、町民のPCR検査を する考えは

町長 検査推進枠は都道府県が対象のため  
PCR検査を実施する考えはない



佐藤 幸一 議員

**問** 「新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金」は、新型コロナウィルスの感染拡大防止と感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援などを通じて地方創生を図ることを目的に令和2年度から今年度8兆3千億円余りが交付されている。政府は2021年度補正予算案で6兆円超を増額する方向で調整中と報道されている。この交付金に「検査推進枠」が新設されるので、町民のPCR検査を実施する考えはないか。また、地域公共交通のタクシー事業の

**町長** 国の補正予算で新型コロナウィルス感染症対応臨時交付金が6・8兆円予算計上され、現時点では詳細は示されていない。詳細が示された段階で検討したい。感染防止と地域経済の活性化については、今後の新型コロナウィルス感染状況や地域経済の状況を見極め、商工会とも協議を行い検討していく。今回の交付金で新設される検査無料化のための検査推進枠は、健康上の理由などでワクチン接種を受けられない人を対象に都道府県が無料で検査できるように支援するものである。市町村に交付されるものでないことから、町としてPCR検査を実施する考えはない。

**問** 北海道で初めて設置された総合学科の清水高等学校も、生徒数の減少により今年から1年間減の3年間となった。地元の中学校卒業生だけでは学級維持が困難になり、さらに学級減が懸念される。清水高校魅力化支援として、公設塾を設置する考えはあるか。

**教育長** 町では、これまで資格取得検定料等の助成を実施している。また、教員による放課後講習等、生徒の進学に対する意欲に応える取り組みも行われている。現在のところ公設塾の設置は考えていない。

**教育長** 昨年度より御影地区から通学する生徒に通学費の全額補助を実施している。町外者への通学費助成をする考えはない。



通学をサポートする清水高校スクールバス

運営支援、プレミアム率のアップなどを行い、感染防止と地域経済活性化を図る考えはないか伺う。

**問** パークゴルフ場は町民の健康、体力の維持増進を図るため多くの町民に利用されているが、行財政改革で夜間照明が点灯されなくなり、今日まで続けている。

昨今の異常ともいえる猛暑に対応するために、さらに新型コロナ感染防止対策として、令和4年度から夜間照明を復活する考えはないか伺う。

**教育長** この20年間の利用者は減少している。早朝からの利用はあるが、夕方4時以降の利用者は少ない現状のため夜間照明を復活する考えはない。

猛暑と感染防止対策として  
パークゴルフ場の夜間照明の復活は  
教育長 夜間照明を復活する考えはない